

平針の里山の豊かな緑の森・生物を守り育てましょう(平針運転免許試験場西側)

『平針の里山』ニュース No.5

2009年9月15日(火)

発行:平針の里山保全連絡協議会(代表:宗宮 弘明)

事務局:〒468-0030 天白区平針台1-401 シティコーポ平針台2-102

伊藤光太郎 TEL/FAX:052-803-1441 Email:koutarou@sb.starcats.ne.jp

当初目標の3万人署名達成しました!

(8月10日14,001人 + 9月1日16,130人)

9月1日 河村市長に合計3万131名の署名を手渡しました。
募金も112万7275円(139人分)集まったことを報告しました。
多くの方々のご協力とご賛同をいただき、本当にありがとうございました。

今後も「平針の里山」の公有地化の実現にむけて募金および署名を続けますので
ご協力よろしくお願いいたします。



河村市長「トトロの森」(東村山市)を視察



河村市長さん、名古屋の「平針の里山」
保全のために悩み頑張っていたいただき、あり
がとうございます!
宮崎監督さん、お忙しい中アドバイス
ありがとうございます!

里山保全について話し合う(右から)宮崎監督、
河村市長、小島アドバイザー
2009年8月31日 (中日新聞朝刊より)

河村たかし市長は八月三十日、住民らが開発から守った東京都東村山市の「トトロの森」を視察した。映画監督の宮崎駿さんと会い「緑を残す考えを市の中できっちり位置付けたほうがいい」との助言を受けた。
二人の面会は小島敏郎・市経営アドバイザーの仲介で実現。トトロの森は市民団体の寄付で市有地として守られている。この日は里山を流れる小川の清掃日。
里山の散策路を歩きながら話し合い、宮崎監督は「森が出す酸素を吸っていても誰も気が付かない。世の中そんなものです」と独特の言い回しで里山の貴重さを訴えた。
河村市長が「名古屋でも里山を何とか残したい。ヒントを」と問いかけると、宮崎監督は「森を残したいと思う人が集まって地元でやるべきだ。市長に頑張ってもらえないか」とエールを送った。

平針の里山〔Q & A〕

6割買い取り案拒否 (9月2日中日新聞)

平針の里山問題 公開協議で住民側

開発か保全かで揺れている名古屋市天白区の平針地区の里山問題で、河村たかし市長は一日、市役所に開発業者と住民らを呼び、報道陣に公開で協議した。開発手続きの妥当性などをめぐり議論は真っ向から対立、市が全体の六割強を買い取って保全する案も住民側は「里山ではなくなってしまう」と拒否。結論には至らなかった。

出席したのは、開発側がシールズ(同市名東区)の加藤常文会長、教育企画(同市西区)の渡辺聡小学校設立準備室長、住民側が宗宮弘明名古屋大学教授や藤川弁護士ら。双方が公開に同意した。

業者側は四月下旬に開発申請したが、河村市長は結論が出るまで許可しない姿勢。業者には毎月五百万円余の利息が負担となっているため、河村市長は近く、融資先の十六銀行と交渉する考えを示した。

協議後、業者側はこの交渉結果は「待ちたい」としながらも、このまま「六割買い取り案」が進まない場合、開発の許可や、金利負担などの損害賠償を求め、訴訟を起こす考えを明らかにした。

1. 8月予定の現地見学会はいつやるの？

市による里道の測量が定かでなかったため、多数での見学が困難となり、開催することができませんでした。今後は個別にご相談ください。

メールアドレス hirabarisatoyama@hotmail.co.jp

2. 8月下旬の公開協議はどうなったの？

市から「9月1日に非公開で」と要請がありました。しかし当日、河村市長の配慮により、報道陣を入れた公開協議となりました。

3. 今後は…？

9月1日、開発業者から調査の許可を得ることができ、これから動植物の調査をしていただきます。平針の里山は、名古屋のような都市化したところで生物多様性を学ぶことのできる大変貴重な所であることが確認できることでしょう。

「平針の里山募金運動」にご協力お願いします

振込口座 ゆうちょ銀行 店番：218 番号：(普)0513684

口座名：平針の里山保全連絡協議会

東京三菱UFJ銀行平針支店 店番：095 番号：(普)0030662

口座名：平針の里山保全連絡協議会 代表 宗宮弘明

大切な里山だから
勝手に入って踏み
荒らさないでね！

こんな声が届いています！

天白の住宅街の中に、こんな広い緑豊かな森が残っていたとは・・・
(某テレビ局のカメラマン)

昔は普通だった景色。でも今はもう名古屋にはない景観。絶対に残すべきだ！(ある専門家)

この場所はヒートアイランドの中のクールアイランドだね。(ある研究者)

ため池から水田に水を流し、稲を育てる昔の農法を見ることが出来る場になります。

子どもたちに自然の素晴らしさ、森の中の気持ちよさ、虫たちや植物たちの営みを伝えられる場になるだろう。(元大学教授)

学校で自然は大切にと、先生が言っていたからボクも署名する！
(おまつりの署名会場で)